

採用施設一覧 (◎は基幹施設、○は連携施設)

◎駒込病院

- 大塚病院
- 豊島病院
- 墨東病院
- 多摩総合医療センター

- 多摩北部医療センター
- 多摩南部地域病院
- 小児総合医療センター

研修プログラムの特徴

● 大塚病院 (連携施設)

がん・感染症センター都立駒込病院泌尿器科 東京医師アカデミー専門研修施設群専門研修プログラム

指導医責任者：泌尿器科 高沢 亮治

連携をしている基幹施設病院：駒込

首都圏を代表する尿路結石センターとして、豊富な症例のエンドウロロジー手術を特徴としています。同分野の最先端治療を経験することができます。国内外の学会に積極的に参加して演題発表するとともに、学術論文作成をおこなっています。また、結石治療だけでなく、東京都区西北部の基幹病院として、泌尿器がん・排尿障害の診療にも取り組んでいます。良性疾患・悪性疾患どちらも幅広く症例を経験し、泌尿器科専門医としての基礎的な知識と技術を習得することができます。大塚病院採用でも専門医取得は十分可能です。

研修コースモデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	泌尿器科						ER / 救命救急研修			泌尿器科		
2 年次	泌尿器科			他科 / 他院研修			泌尿器科					
3 年次	泌尿器科			他科 / 他院研修			泌尿器科					
4 年次	泌尿器科			他科 / 他院研修			泌尿器科					

● 駒込病院 (基幹施設)

がん・感染症センター都立駒込病院泌尿器科東京医師アカデミー専門研修施設群専門研修プログラム

プログラム責任者：腎泌尿器外科 古賀 文隆 プログラム研修期間：4年

連携施設病院：大塚 / 豊島 / 墨東 / 多摩総合 / 多摩北 / 多摩南 / 小児総合

国立がん研究センター東病院 / がん研有明病院 / 青梅市立総合病院 / 東京北医療センター / 細部医院 / 島しょ等

地域中核病院であると同時に本プログラムの基幹施設である駒込病院は都道府県がん診療連携拠点病院に、多摩総合医療センターと墨東病院はがん診療連携拠点病院および救命救急センターに、小児総合医療センターはがん診療連携拠点病院に指定されています。また、サブスペシャリティー領域として各種低侵襲手術（腹腔鏡・腹腔鏡下小切開 [ロボサーजन手術]・ロボット支援手術）、結石治療、小児泌尿器科、透析の専門的研修を提供しています。本専門研修プログラムの施設群では、腹腔鏡手術や腹腔鏡下小切開手術を含めた年間 1,800 ~ 2,200 例の泌尿器科腫瘍・尿路結石・前立腺・小児泌尿器科疾患などの幅広い領域にわたる一般的もしくは専門的泌尿器科手術を行っているほか、救急疾患をはじめとする幅広い泌尿器科疾患の研修に対応しています。このように、診療に関しては、地域医療と専門医療の両面へ配慮する事で、バランスのよい優れた泌尿器科専門医を育成する事を特色としています。一方で、先導的立場に立つ泌尿器科専門医としてのプロフェッショナルリズムとリサーチマインドの素養の育成を目的に、症例報告のみならず臨床研究にも積極的に参画し、国内外での学会発表や論文報告を行っていきます。さらに興味のある専攻医は、文部科学省科学研究費を取得しての研究を行うことができる体制（駒込病院および多摩総合医療センター）も整っています。

また、総合診療能力の向上を図るための研修として多摩総合医療センターや墨東病院におけるER研修や島しょ等の都内へき地医療機関における地域医療研修も実施しています。

研修コースモデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	駒込病院		ER研修（墨東病院）			結石治療（大塚病院）			駒込病院			
2年次	癌治療・ロボサージャン手術・ロボット支援手術（駒込病院）									小児泌尿器科（小児総合医療センター）		
3年次	癌治療・ロボサージャン手術・ロボット支援手術（駒込病院）									前立腺レーザー治療（多摩南部地域病院）		
4年次	癌治療・腹腔鏡手術（国がんセンター東・がん研有明）						駒込病院					

● 多摩総合医療センター（連携施設）

指導医責任者：泌尿器科 東 剛司

連携をしている基幹施設病院：駒込

東京医師アカデミー泌尿器科研修プログラムの研修基幹施設および連携施設は、東京都広域16市5区の合計5つの2次医療圏にある6つの地域中核病院（駒込病院、大塚病院、豊島病院、多摩総合医療センター、小児総合医療センター、多摩北部医療センター、多摩南部地域病院）の役割を担うと同時に、7研修施設全てがサブスペシャリティー領域の専門性の高く、特色のある泌尿器科医療を提供しています。これらの研修施設群で泌尿器科の研修をする事で、泌尿器科医としての多彩な専門研修の実現と偏りのない診療経験の獲得、地域医療への貢献を可能としています。4年間の研修期間のうち、初年度と4年目に3ヶ月ずつの合計6ヶ月間を、研修基幹施設である駒込病院で研修する事としています。残りの3年6ヶ月間は研修連携施設または基幹施設での研修となりますが、本人の希望や研修の進捗状況に応じて、1研修施設に最大3年6ヶ月までの研修期間が許容されます。多摩総合医療センターでは、尿路悪性腫瘍を中心に、排尿障害、尿路感染、尿路結石など泌尿器科領域全般について診療をしています。腎癌、腎盂・尿管癌には腹腔鏡下手術を、前立腺癌、腎癌、膀胱癌には、ロボット手術を行っています。これらの手術に加え、尿路悪性腫瘍に対する薬物療法も積極的に行っております。当科には、がん薬物療法専門医が在籍していますので、薬物療法を基本から学ぶことが出来ます。今話題の免疫療法に関しても、腫瘍免疫の専門家がいますので、学ぶことが可能です。さらに、学会発表および学術論文の作成を指導し、科学者としての能力を取得することも目標とします。

研修コースモデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	駒込病院		7施設から選択									
2年次	7施設から選択											
3年次	7施設から選択											
4年次	7施設から選択										駒込病院	